

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2019-208607 (P2019-208607A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2018-104770 (P2018-104770)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 30 日 (2021.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、

その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、

その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備えた遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、

前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1 状態よりも有利度合いが低い第 2 状態を設定する第 2 状態設定手段と、を備え、

前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 1 回数未満の第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記第 1 状態設定手段によって前記第 1 状態が設定される可能性が異なる構成であり、

前記遊技機は、

前記第 1 状態において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記第 1 状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る所定演出態様を少なくとも含む演出を実行する手段を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能に構成することにより遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

しかしながら、更なる興趣向上が求められている。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第1状態を設定する第1状態設定手段と、前記第1状態が設定された後で予め定められた第1回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第1状態よりも有利度合いが低い第2状態を設定する第2状態設定手段と、を備え、前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第1回数未満の第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、前記第1状態設定手段によって前記第1状態が設定される可能性が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第1状態において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記第1状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る所定演出態様を少なくとも含む演出を実行する手段を有する。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

請求項 1 記載の遊技機によれば、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、所定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1 状態よりも有利度合いが低い第 2 状態を設定する第 2 状態設定手段と、を備え、前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 1 回数未満の第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記第 1 状態設定手段によって前記第 1 状態が設定される可能性が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第 1 状態において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記第 1 状態が設定される期待度を遊技者が把握し得る所定演出態様を少なくとも含む演出を実行する手段を有する。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】3029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【3029】

上述した各遊技機のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能にし、様々な状態において当たり遊技を目指す遊技を行わせることにより遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある（例えば、特許文献1：特開2001-038007号公報）。

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、第1の判別条件の成立に基づいて第1の判別を実行する第1判別手段と、前記第1の判別条件とは異なる第2の判別条件の成立に基づいて、前記第1の判別よりも遊技者にとっての有利度合いが高い第2の判別を実行する第2判別手段と、を有し、所定の設定条件の成立に基づいて、前記第1の判別条件が成立し易い第1遊技状態と、その第1遊技状態よりも遊技者に不利な第2遊技状態と、を少なくとも含む複数の遊技状態の中から1の遊技状態を設定する遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第1遊技状態において前記設定条件が成立して前記第2遊技状態が設定された場合に、予め定められた特定条件が成立していれば、前記第1遊技状態よりも前記第2の判別条件が成立し易い第1状態を形成するように構成されているものである。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、前記遊技機は、前記第1遊技状態において前記設定条件が成立して前記第2遊技状態が設定された場合に、予め定められた特定条件が成立していなければ、前記第1状態よりも前記第2の判別条件が成立し難い第2状態を形成するように構成されているものである。

技術的思想3の遊技機は、技術的思想1又は2記載の遊技機において、前記第1判別手段の判別結果と、前記第2判別手段の判別結果とのうちどちらかが予め定められた特定の判別結果になったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段を備え、前記第1判別手段は、予め定められた第1の確率で前記特定の判別

結果となるように構成されているものであり、前記第 2 判別手段は、前記第 1 の確率よりも高い第 2 の確率で前記特定の判別結果となるように構成されているものである。

技術的思想 4 の遊技機は、技術的思想 3 記載の遊技機において、前記遊技機は、前記第 1 状態において予め定められた第 1 条件が成立したことに基づいて、遊技状態の変更を伴わずに、前記第 1 状態よりも前記第 2 の判別条件が成立し難い第 2 状態を形成するように構成されているものである。

技術的思想 5 の遊技機は、技術的思想 1 から 4 の何れかに記載の遊技機において、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 判別手段の判別に用いるための第 1 判別情報を取得する第 1 判別情報取得手段と、前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 2 判別手段の判別に用いるための第 2 判別情報を取得する第 2 判別情報取得手段と、前記第 1 判別情報取得手段によって取得された前記第 1 判別情報を、所定の情報数を上限として、前記第 1 判別手段の判別に用いられるまでの間記憶することが可能な第 1 記憶手段と、前記第 2 判別情報取得手段によって取得された前記第 2 判別情報を、所定の情報数を上限として、前記第 2 判別手段の判別に用いられるまでの間記憶することが可能な第 2 記憶手段と、を備え、前記第 1 判別手段は、前記第 1 記憶手段に記憶されている前記第 1 判別情報を用いて前記第 1 の判別を実行するものであり、前記第 2 判別手段は、前記第 2 記憶手段に記憶されている前記第 2 判別情報を用いて前記第 2 の判別を実行するものであり、前記第 1 の判別は、前記第 2 の判別よりも優先して実行されるように構成されているものであり、前記第 1 遊技状態は、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段との両方に遊技球が入球し得るように構成されているものであり、前記第 2 遊技状態は、前記第 1 遊技状態よりも、前記第 2 入球手段に少なくとも遊技球が入球し難くなるように構成されているものである。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、第 1 の判別条件の成立に基づいて第 1 の判別を実行する第 1 判別手段と、前記第 1 の判別条件とは異なる第 2 の判別条件の成立に基づいて、前記第 1 の判別よりも遊技者にとっての有利度合いが高い第 2 の判別を実行する第 2 判別手段と、を有し、所定の設定条件の成立に基づいて、前記第 1 の判別条件が成立し易い第 1 遊技状態と、その第 1 遊技状態よりも遊技者に不利な第 2 遊技状態と、を少なくとも含む複数の遊技状態の中から 1 の遊技状態を設定する遊技状態設定手段を備え、前記遊技機は、前記第 1 遊技状態において前記設定条件が成立して前記第 2 遊技状態が設定された場合に、予め定められた特定条件が成立していれば、前記第 1 遊技状態よりも前記第 2 の判別条件が成立し易い第 1 状態を形成するように構成されているものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記遊技機は、前記第 1 遊技状態において前記設定条件が成立して前記第 2 遊技状態が設定された場合に、予め定められた特定条件が成立していなければ、前記第 1 状態よりも前記第 2 の判別条件が成立し難い第 2 状態を形成するように構成されているものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第 1 判別手段の判別結果と、前記第 2 判別手段の判別結果とのうちどちらかが予め定められた特定の判別結果になったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段を備え、前記第 1 判別手段は、予め定められた第 1 の確率で前記特定の判別結果となるように構成されているものであり、前記第 2 判別手段は、前記第 1 の確率よりも高い第 2 の確率で前記特定の判別結果となるように構成されているものである。

これにより、第 1 判別手段の判別回数と、第 2 判別手段の判別回数と、に注目して遊技を行わせることができるという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機によれば、技術的思想 3 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記遊技機は、前記第 1 状態において予め定められた第 1 条件が成立したことに基づいて

、遊技状態の変更を伴わずに、前記第 1 状態よりも前記第 2 の判別条件が成立し難い第 2 状態を形成するように構成されているものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 から 4 の何れかに記載の遊技機の奏する効果に加え、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 判別手段の判別に用いるための第 1 判別情報を取得する第 1 判別情報取得手段と、前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 2 判別手段の判別に用いるための第 2 判別情報を取得する第 2 判別情報取得手段と、前記第 1 判別情報取得手段によって取得された前記第 1 判別情報を、所定の情報数を上限として、前記第 1 判別手段の判別に用いられるまでの間記憶することが可能な第 1 記憶手段と、前記第 2 判別情報取得手段によって取得された前記第 2 判別情報を、所定の情報数を上限として、前記第 2 判別手段の判別に用いられるまでの間記憶することが可能な第 2 記憶手段と、を備え、前記第 1 判別手段は、前記第 1 記憶手段に記憶されている前記第 1 判別情報を用いて前記第 1 の判別を実行するものであり、前記第 2 判別手段は、前記第 2 記憶手段に記憶されている前記第 2 判別情報を用いて前記第 2 の判別を実行するものであり、前記第 1 の判別は、前記第 2 の判別よりも優先して実行されるように構成されているものであり、前記第 1 遊技状態は、前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段との両方に遊技球が入球し得るように構成されているものであり、前記第 2 遊技状態は、前記第 1 遊技状態よりも、前記第 2 入球手段に少なくとも遊技球が入球し難くなるように構成されているものである。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】3030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【3030】

10	パチンコ機（遊技機）
64a2	右第 1 入球口（第 1 入球手段）
64b	右第 2 入球口（第 2 入球手段）
203a	特別図柄 1 保留球格納エリア（第 1 記憶手段）
203a2	特別図柄 2 保留球格納エリア（第 2 記憶手段）
S221	特典遊技実行手段
<u>S215</u>	<u>第 7 実施形態における特典遊技実行手段の一部</u>
S303, S307	第 7 実施形態における判別手段
S706	第 7 実施形態における判別情報取得手段
S758	第 7 実施形態における判別情報取得手段
S1622	遊技状態設定手段
<u>S1717</u>	<u>第 7 実施形態における特典遊技実行手段の一部</u>